

札幌市親子ワークショップ報告書【概要版】

○概要

1. 日時 平成28年3月29日（火） 9:00～15:00
2. 会場 札幌市役所、白石清掃工場、中沼資源選別センター
3. 参加者 21名
4. 全体の流れ

時間	場所	内容	詳細
8:00	市役所ロビー	事務局集合	・クイズラリー用紙、説明スライド資料、ごみに関する札幌市資料を配布した。
8:45		参加者受付	
9:00		出発	
9:30	白石清掃工場	到着	・施設からの説明および札幌市のごみ事情について説明した。 ・ごみピット、ごみ収集車の運搬の様子、中央制御室、焼却炉、発電施設をまわり、説明した。
9:35		説明	
9:50		施設見学	
10:50		質疑応答	
11:00		出発	
11:20	中沼資源選別センター	到着	・施設からの説明およびDVDの観賞を行った。 ・ホールに展示されているリサイクル原料・製品について説明した。 ・選別レーン（磁選機、ふるい機、風力選別機、ペットボトル手選別コンベヤ）や受入ホッパをまわり、説明した。
11:25		説明	
11:45		施設見学	
12:00		質疑応答	
12:05		出発	
12:30	市役所 12階会議室	到着	・新聞ワークショップは以下の流れでグループごとに行った。 ①見学した施設の振り返り ②ごみ減量アイデアの共有 ③新聞の仕上げ ④発表（5分×3グループ） ・参加者に、自分の家でも夏休みまでにチャレンジしてみたいごみ減量のアイデアを3つ書いてもらい、記念撮影を行った。
12:35		説明	
12:40		昼休み	
13:30		新聞ワークショップ	
14:40		親子でチャレンジ宣言	
14:50		アンケート	
14:55		札幌市挨拶	
15:00		終了	

○ごみ減量アイデア・意見

食材	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物に行く前には必ず冷蔵庫の中をチェックし、無駄なものを買わない。 ・ご飯を残さず食べる。 ・食品ロスを少なくする。（流過程）
省資源	<ul style="list-style-type: none"> ・詰め替え用容器を買う。スポーツドリンクはペットボトルを買わずに粉末の商品を買う。 ・水をこぼしたときにふくのはティッシュではなくおしぼりでふく。 ・買う時にエコバックを持っていく。 ・必要最低限のものの購入。 ・捨てる前に何かに利用できないか一度考えてみる。
服・布	<ul style="list-style-type: none"> ・着られなくなった子ども服を必要な人に譲る。 ・穴のあいたズボンや服でも、また縫えば使える。 ・古着の集める場所まで持っていきのが大変で、分別が難しい。
おもちゃ	<ul style="list-style-type: none"> ・いらなくなったおもちゃなどをすぐに捨てずにリサイクルショップに出す。 ・壊れたものをすぐに捨てずにおもちゃ病院などでなおしてもらおう。 ・市のスキールサイクルの活用を広める。
ペットボトル	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルのキャップとラベルをとって、つぶさないでごみ箱に捨てる。 ・ペットボトルのキャップを集めて福祉団体（ポリオワクチン）に寄贈する。 ・ペットボトルを飲み終わったら水で洗う。
分別・回収	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳パックなどをリサイクルすること。 ・ごみを捨てる時、間違えて捨てない。ゴミはゴミでも資源ごみがある！ ・自動販売機の横に必ずキャップやラベルのごみ箱を置く。 ・循環コンビニを利用する。 ・ごみ箱に「キャップをはずしてくれてありがとう」などのメッセージをはる。
生ごみ	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみの水を良くきってから捨てるようにする。 ・なるべく細かくしてから捨てる。（燃えやすい?） ・お茶葉を乾かしてから捨てる。（よく燃える） ・野菜の生ごみをお出汁に利用できるらしい。 ・生ごみをコンポストでたい肥にする。 ・生ごみを畑に埋めて肥料にする。

○当日の様子・ワークショップ結果

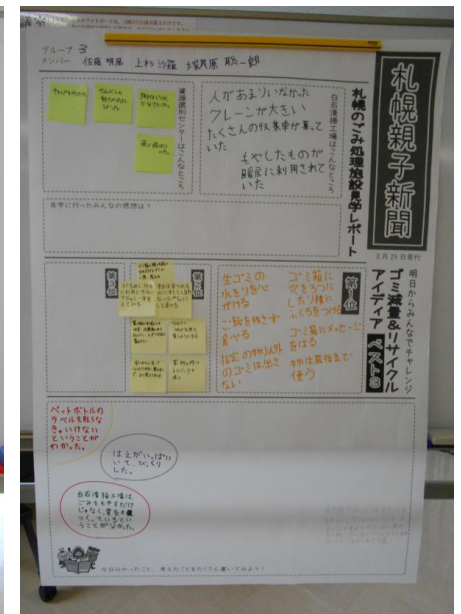
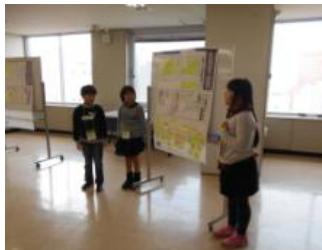
＜白石清掃工場＞



＜中沼資源選別センター＞



＜新聞ワークショップ＞



○アンケート結果（一部抜粋）

保護者	◆今回参加して、ごみ減量・リサイクルに対する意識が変わったか？		
	変わった	[Progress bar]	7
	少し変わった	[Progress bar]	3
	変わらなかった	[Progress bar]	0
	合計		10
◆ごみ減量・リサイクルの啓発として どういった方法が効果的だと思うか？			
広報さっぽろ・HP	[Progress bar]	3	
出前講座(クリーンミーティング)	[Progress bar]	4	
ごみ分別アプリ	[Progress bar]	1	
ワークショップ・施設見学会	[Progress bar]	7	
その他	[Progress bar]	3	

・ 出前講座で学校に来てほしい。
 ・ 初めて清掃工場と選別センターを見学して、手作業で選別されているのを知り、改めて分別をしっかりしたいと思った。
 ・ 勉強になり、良い経験になった。小さい頃に見学するといことだと思った。
 ・ もっとたくさんの方が参加できるワークショップがあるといい。

子ども	◆今回参加して、ごみ減量・リサイクルが大事だと思ったか？		
	感じた	[Progress bar]	9
	少し感じた	[Progress bar]	1
	感じなかった	[Progress bar]	0
	合計		10
◆今回参加して、ごみ減量や分別の手伝いをしたいと思ったか？			
思った	[Progress bar]	8	
少し思った	[Progress bar]	1	
思わなかった	[Progress bar]	1	
合計		10	